

1 社会・治安情勢

- (1) 多くの観光客が訪れるリオ市ゾナスル地区においても、スマートフォンを狙った強盗事件や窃盗事件（ひったくり、置き引き）が昼夜を問わず多く発生しており、日常生活において十分な警戒が必要です。
- (2) 7月6日及び7日、リオ近代美術館において、BRICS首脳会合が開催されました。これに伴い、リオ市内では警察や軍による大規模な警備が実施されました。同会合に関連した大規模な犯罪やテロは認知しておりません。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) リオ州公安統計院（ISP）によれば、2025年7～9月期のリオ州内における殺人事件発生件数は695件で、前期と比べて約2.2%増加しました。
- (2) 同期間中のリオ州内における強盗事件発生件数は23,141件で、前期と比べて約2.1%減少したものの、引き続き非常に高い水準で発生してます。手口別では、特に屋外での強盗（車両強盗、通行人強盗、交通機関内強盗、携帯電話強盗）が多く発生しました。地区別では、コパカバーナ地区で34件（約15.4%）、イパネマ・レブロン地区で69件（約24.6%）、ボタフォゴ・フラメンゴ地区で222件（約24.8%）それぞれ減少しました。
- (3) 同期間中のリオ州内における窃盗事件発生件数は47,377件で、前期と比べて約3.8%増加しており、引き続き非常に高い水準で発生してます。地区別では、コパカバーナ地区で883件（約32.8%）減少した一方で、イパネマ・レブロン地区で162件（約8.5%）、ボタフォゴ・フラメンゴ地区で369件（約15.9%）増加しました。

3 リオ州犯罪発生状況（2024～2025 年度）

	第 3 四半期 (10～12 月)	第 4 四半期 (1～3 月)	第 1 四半期 (4～6 月)	第 2 四半期 (7～9 月)
殺人	786	825	680	695
強姦性交等	1,402	1,463	1,406	1,517
商業施設強盗	410	382	448	506
住居侵入強盗	213	204	149	164
車両強盗	9,691	6,581	5,136	5,408
通行人強盗	7,812	8,443	7,119	6,369
交通機関内強盗	1,596	1,341	928	889
携帯電話強盗	5,667	6,571	6,635	6,658
強盗総数	29,668	26,908	23,637	23,141
窃盗総数	43,626	49,439	45,638	47,377
取扱件数	231,494	245,997	233,445	246,089
※警察介入の際の致死事件	141	205	167	141

4 一般事件等（邦人の安全に関わりうる事件を抜粋）

（1）路上強盗（ボタフォゴ地区）

7 月 19 日夜、ボタフォゴ地区の路上で女性に対する強盗事件が発生しました。被害者（女性）は路上でスマートフォンを操作していたところ、犯人により暴行を受け、所持品を強奪されました。

（2）路上強盗（フラメンゴ地区）

8 月 7 日午前、フラメンゴ地区の路上で女性に対する強盗事件が発生しました。被害者（女性）が歩道を歩いていたところ、突然ヘルメットを着用した犯人により所持していたカバンを強取されました。その際、被害者は地面に引きずり倒され、軽傷を負いました。

（3）クレジットカード詐欺事件（コパカバーナ地区等）

8 月 20 日、アルポアドール海岸で観光客がクレジットカードでたばこ 1 箱を購入したところ、後日 3,000 レアル以上が請求されるという事件が発生しました。本件以外にもコパカバーナ地区等の屋台にてクレジットカードで飲み物や食べ物を購入した後に法外な金額が請求されるという事案（カイピリーニャ 1 杯 2,000 レアル、とうもろこし 1 個 1,000 レアルなど）が数多く報告されています。

（4）屋内強盗事件（イパネマ地区）

8 月 5 日午後、イパネマ地区に所在するフラメンゴショップ店内で拳銃を所持した犯人による強盗事件が発生しました。被害者は同店内で買い物中に犯人

により所持品を強取されました。

(5) アハスタオン（集団強盗）の発生（コパカバーナ地区）

8月23日夕方、コパカバーナ地区ノッサ・セニョーラ・ダ・コパカバーナ通り周辺において少年グループによるアハスタオンが発生しました。少年グループは、付近の通行人の所持品を盗み、また市バスの窓ガラスを損壊するなどの行為を行いました。報道によると、本件に関連して100人以上の少年が軍警察により警察署に連行されました。

5 テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生は認知されていません。

6 誘拐・恐喝事件発生状況

日本人の被害は認知されていません。